

大問 1

n を 2 以上の自然数とする。自然数の組 (a_1, a_2, \dots, a_n) を解とする方程式

$$(*) \quad a_1 + a_2 + \dots + a_n = a_1 \times a_2 \times \dots \times a_n$$

を考えると、以下の各問いに答えよ。

- (1) $n = 3$ のとき、 $(*)$ の解のうち $a_1 \leq a_2 \leq a_3$ を満たすものを全て求めよ。

$3a_3 \geq a_1 + a_2 + a_3 = a_1 a_2 a_3$ より $a_1 a_2 \leq 3$ である。これより、 $(a_1, a_2) = (1, 1), (1, 2), (1, 3)$ である。これらを $(*)$ に代入して a_3 を求めると、 $(a_1, a_2) = (1, 1)$ では解なし、 $(a_1, a_2) = (1, 2)$ では $a_3 = 2$ 、 $(a_1, a_2) = (1, 3)$ では $a_3 = 2$ となって $a_2 \leq a_3$ に矛盾する。これより、 $(*)$ の解のうち $a_1 \leq a_2 \leq a_3$ をみたすものは $(a_1, a_2, a_3) = (1, 2, 3)$ のみである。

- (2) $n \leq 3$ のとき、 $(*)$ の任意の解 (a_1, a_2, \dots, a_n) において、 $a_i = 1$ となる i が少なくとも 1 つ存在することを示せ。

$(*)$ は a_1, a_2, \dots, a_n について対称な式なので $a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n$ を仮定して問題ない。

$$na_n \geq a_1 + a_2 + \dots + a_n = a_1 a_2 \dots a_n \geq (a_1)^{n-1} a_n$$

より $(a_1)^{n-1} \leq n$ である。 $n \geq 3$ のとき $2^{n-1} > n$ なので $a_1 = 1$ が導かれる。これより、 $a_i = 1$ となる i は少なくとも 1 つ存在する。

- (3) $(*)$ のある解 (a_1, a_2, \dots, a_n) において、 $a_i = 1$ となる i がちょうど 2 個存在しているとする。このとき、 n の取り得る値を全て求めよ。

(2) と同様に $a_1 \leq a_2 \leq \dots \leq a_n$ を仮定する。条件から $a_1 = a_2 = 1$ で $a_3 \geq 2$ である。

$$na_n \geq a_1 + a_2 + \dots + a_n = a_1 a_2 \dots a_n \geq a_1 a_2 (a_3)^{n-3} a_n \geq 2^{n-3} a_n$$

より $2^{n-3} \leq n$ が得られるがこれをみたすのは $n \leq 5$ のときのみである。

(a) $n = 2$ のとき条件から $a_1 = a_2 = 1$ が必要だがこれは $(*)$ の解とはならない。

(b) $n = 3$ のとき (1) で求めたように、 $a_1 = a_2 = 1$ となる解は存在しない。

(c) $n = 4$ のとき $(a_1, a_2, a_3, a_4) = (1, 1, 2, 4)$ は解であり条件をみたす。

(d) $n = 5$ のとき $(a_1, a_2, a_3, a_4, a_5) = (1, 1, 2, 2, 2)$ は解であり条件をみたす。

以上より、 n の取り得る値は 4, 5 である。

2

xyz空間において、点A(1, 0, 0), B(0, 1, 0), C(-1, 0, 0), D(0, 0, 1)をとる。線分CDの中点をMとする。さらに、Nを線分BD上の点とする。また、z軸と平行でない直線上の異なる2点P(x, y, z), Q(x', y', z')に対して、

$$\frac{z'-z}{\sqrt{(x'-x)^2+(y'-y)^2}}$$

をベクトルPQの勾配と呼ぶ。ANの勾配を t_1 、NMの勾配を t_2 とするとき、以下の各問に答えよ。

- $t_2 = 0$ となるようにNをとったとき、 t_1 の値を求めよ。
- $l = |\overline{AN}| + |\overline{NM}|$ とし、 l が最小となるようにNをとったとき、 l の値を求めよ。
- $0 \leq t_2 \leq t_1$ となるようにNをとったとき、Nの座標を s とする。sがとり得る値の範囲を求めよ。

(1) $t_2 = 0$ より NとMのz座標は等しい。Mの座標は $(-\frac{1}{2}, 0, \frac{1}{2})$ である。

Nの座標は $(0, \frac{1}{2}, \frac{1}{2})$ である。

$$t_1 = \frac{\frac{1}{2} - 0}{\sqrt{(0-1)^2 + (\frac{1}{2}-0)^2}} = \frac{1}{\sqrt{5}}$$

(2) Nの座標を $(0, y, 1-y)$ とする。

A(-1, 1, 1) とする。

$$|\overline{AN}|^2 = (x^2 + y^2 + (1-y)^2)$$

$$|\overline{NM}|^2 = (x^2 + (1-y)^2 + y^2) \text{ より } |\overline{AN}| = |\overline{NM}| \text{ である。}$$

$$l = |\overline{AN}| + |\overline{NM}| \geq |\overline{AM}| = \sqrt{(\frac{3}{2})^2 + (1^2 + (\frac{1}{2})^2)} = \frac{\sqrt{14}}{2}$$

一方 $y = \frac{1}{2}$ とすれば

$$|\overline{AN}|^2 = 1^2 + (\frac{1}{2})^2 + (\frac{1}{2})^2 = \frac{14}{9}$$

$$|\overline{NM}|^2 = (\frac{1}{2})^2 + (\frac{1}{2})^2 + (\frac{1}{2})^2 = \frac{14}{36} \text{ より } l = \frac{\sqrt{14}}{3} + \frac{\sqrt{14}}{6} = \frac{\sqrt{14}}{2} \text{ である。}$$

lの最小値は $\frac{\sqrt{14}}{2}$

(3) Nの座標は $(0, s, 1-s)$ ($0 \leq s \leq 1$) である。

$$t_1 = \frac{1-s}{\sqrt{1^2 + s^2}} = \frac{1-s}{\sqrt{1+s^2}}$$

$$t_2 = \frac{\frac{1}{2} - (1-s)}{\sqrt{(\frac{1}{2})^2 + s^2}} = \frac{2s-1}{\sqrt{1+4s^2}} \text{ である}$$

$$0 \leq t_2 \leq t_1 \iff 0 \leq t_2 \text{ かつ } t_2 \leq t_1$$

$$\iff \frac{2s-1}{\sqrt{1+4s^2}} \geq 0 \text{ かつ } \frac{(1-s)^2}{1+s^2} \geq \frac{(2s-1)^2}{1+4s^2}$$

$$\iff s \geq \frac{1}{2} \text{ かつ } 1 - \frac{2s}{1+s^2} \geq 1 - \frac{4s}{1+4s^2}$$

$$\iff s \geq \frac{1}{2} \text{ かつ } 4s(1+s^2) \geq 2s(1+4s^2)$$

$$\iff s \geq \frac{1}{2} \text{ かつ } 2s^2 + 2 \geq 4s^2 + 1$$

$$\iff s \geq \frac{1}{2} \text{ かつ } 1 \geq 2s^2$$

$$\iff \frac{1}{2} \geq s \geq \frac{1}{2}$$

したがって、sの範囲は $\frac{1}{2} \leq s \leq \frac{1}{2}$

3 $f(x)$ を連続関数とすると、次の各問いに答えよ。

(1) 次の等式を示せ。

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2x) \sin x \, dx = \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2x) \cos x \, dx$$

(2) 次の等式を示せ。

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2x)(\sin x + \cos x) \, dx = \int_{-1}^1 f(1-t^2) \, dt$$

(3) 次の定積分の値を求めよ。

$$\int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{\sin x}{1 + \sqrt{\sin 2x}} \, dx$$

(1) $x = \frac{\pi}{2} - t \quad x \in [0, \frac{\pi}{2}]$

$$\begin{aligned} \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2x) \sin x \, dx &= \int_{\frac{\pi}{2}}^0 f(\sin 2(\frac{\pi}{2}-t)) \cos t (-dt) \\ &= \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2t) \cos t \, dt \\ &= \int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2x) \cos x \, dx \quad \square \end{aligned}$$

(2) $\int_0^{\frac{\pi}{2}} f(\sin 2x)(\sin x + \cos x) \, dx$ — (*)

$\sin x - \cos x = t \quad x \in [0, \frac{\pi}{2}]$

$\int (\sin x + \cos x) \, dx = dt \quad \forall, \quad (*) = \int_{-1}^1 f(1-t^2) \, dt \quad \square$

(3) $\int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{\sin x}{1 + \sqrt{\sin 2x}} \, dx = \frac{1}{2} \int_{-1}^1 \frac{dt}{1 + \sqrt{1-t^2}} = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \frac{\cos \theta}{1 + \sin \theta} \, d\theta$

$\tan \frac{\theta}{2} = t \quad x \in [0, \frac{\pi}{2}]$
 $\frac{2}{1+t^2} dt = d\theta$
 $\sin \theta = \frac{1-t^2}{1+t^2} \quad \forall$

$$= \int_0^1 \frac{\frac{1-t^2}{1+t^2}}{1 + \frac{1-t^2}{1+t^2}} \cdot \frac{2}{1+t^2} dt = 2 \int_0^1 \frac{1-t^2}{(1+t^2)^2 + 1-t^2} dt = \int_0^1 \frac{1-t^2}{1+t^2} dt$$

$$= 2 \int_0^1 \frac{1}{1+t^2} dt - 1 = 2 \cdot \frac{\pi}{4} - 1 = \frac{\pi}{2} - 1$$